

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第9回 市営水道

～きれいな水が届けられるまで～

蛇口をひねれば当たり前のように出てくるきれいな水。飲んだり、洗濯をしたり、手洗い・うがいをしたり、私たちの生活に欠かせないものとなっています。さて、この水道の水はどこから来て、どのような処理をされてきたのでしょうか。市内の水道は、ニュータウン地区では県営水道、そのほかの地区では市営水道で各家庭に供給されています。今回は市営水道で供給されている水の舞台裏を紹介します。

市営水道の水源の一つは井戸からくみ上げた地下水で、いくつかの工程を経てきれいな水になっていきます。

まずは塩素消毒。地下水には、微生物や細菌などが含まれている可能性があり、そのまま飲んでしまうと健康に影響が出る恐れがあります。そこで、塩素剤を入れて消毒をすることで安全な水にしています。次に、^{ろ過}ろ過装置と呼ばれる水槽で水より比重が大きい砂などを沈殿させた後、ろ過装置で着色の原因となる鉄分とマンガン分を取り除きます。このような処理をすることで安心して飲んでもらえる、きれいな水にすることができます。

こうして基準を満たす品質になった水は、本市を含む近隣市町で構成する印旛広域水道用水事業で浄水処理をされた利根川からの水と合わせて、市内19カ所にある配水池にためられた後、配水管を通して各家庭に供給されています。

普段何げなく使っている水道水。蛇口からきれいな水が出るまでには、安心・安全に使ってもらうためのさまざまな工程がありました。



①



②



③

- ① 毎日行う水質の検査
- ② 3つのタンクで鉄分・マンガン分を除去
- ③ 複雑な配管を通して各エリアへ配水される

社会インフラを支える力になる

水道部工務課 ^{あらかたし ゆう} 荒渡 悠さん

水道水を安全に安定して供給できるよう、取水場や配水場の修繕や維持管理業務を担当しています。設備が問題なく稼働しているか、異常の兆候はないかといったことを日々確認しています。

幅広い知識が必要な仕事ですが、市内の広い範囲にわたって、水道という生活に欠かせないものに携われることをやりがいに感じています。これからも引き続き安心・安全な水を届けられるよう努めていきます。



舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

編集後記

日本中を熱狂の渦に巻き込んだサッカーワールドカップ。強豪ドイツ・スペインを下しグループリーグをトップで通過するという明るいニュースが届き、私も日本の快進撃に胸を躍らせた。さて、明るいニュースといえば、今年は市内でも多くの明るい出来事が。10ページに掲載している「2022年の主な出来事」で振り返ると、コロナ禍を乗り越え活気あふれる成田が戻ってきたのだと実感します。収束まであと一歩。来年こそはと願うばかりです。

令和4年12月15日号 No.1473

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは簡デンスーウェブの登録商標です

*本紙は12月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。